

JAやまがた

YAMAGATA KAMINOYAMA YAMANOBE NAKAYAMA



JA Yamagata Montbly
http://www.jayamagata.or.jp/

1

2013.
January
[睦月]

広報やまがた

2013/1月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714



“新春座談会”

山形県産米を
県民みんなで盛り上げて、
全国に発信していこう！

やまがたの食べ物っておいしいんだよ。

19
日は
弁当
の日



やまがたランチしてみない？

ランチで地産地消！ 毎月19日は「弁当の日」です

毎月19日は、「食育推進基本計画」に定められた「食育（いく＝19）の日」です。山形県では、「夢未来やまがた食育計画」に定めた「食育推進の日（家族団らんの日）」でもあります。県産食材のランチで、山形のおいしさを実感してください！

「くらしと農林水産業を協同で守る県民運動」

実施団体：JAグループ山形/山形県森林組合連合会/山形県漁業協同組合/山形県生活協同組合連合会



新年のごあいさつ

山形農業協同組合
代表理事組合長 板垣 平治郎



あけましておめでとうございます。

輝かしい平成二十五年を迎え、組合員の皆様には、穏やかにお過ごしのことと拝察し心よりお慶び申し上げます。また常日頃より、農協事業に対する格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

さて、東日本大震災からまもなく二年を迎えようとしております。依然として続く活発な余震活動、未だに故郷に帰れない避難者、そして遅々として処理の進まぬ瓦礫の山。被災地では、以前の農業をとりもどすことがまだまだ困難な状況にあります。このことを強く受けとめ、私たちはJAグループとして被災地の復旧・復興に資するため、今後も支援を行ってまいります。

昨年の総選挙において政権交代がなされ、ますます農業政策の動向を見守る必要があります。申すまでもなく、TPPは断固として反対しなければなりません。私たちは水と大地に恵まれた日本の農業を外圧から守り、組合員の食料供給を確保し、国民の食を守る責務があると考えております。この責務を全うするため、今後も後退することなく、TPP交渉参加反対を強く主張してまいります。

山形農業協同組合では、昨年の長澤中央会会長就任に伴い、新常勤役員体制が発足いたしました。

私が組合長に就任し、経営の柱として掲げたのは「組合員の目線に立つ」ということです。組合員の所得向上と安定した経営基盤の構築に向け、日々取り組んでおります。先人が築きあげた農業協同組合を継承し、時代の要請に応える「JA創り」を目指す所存です。今盛んに叫ばれております「六次産業化」につきましても、時代の潮流に乗る大切な要素と考えております。当JAとしましても地元農産物に付加価値を付け、農家所得の向上と地域農業の活性化を実現する方策の一つとして、検討していきたいと思っております。

また、農業活性化の鍵を握るのは女性です。今後は経営にも積極的に参画していただける環境を整えるべく、今年は当JAにおいても女性理事の登用に加え、女性ならではの感覚を生かした事業を今後展開してまいります。そして元気のあるJAにしていくなことをお約束するとともに、女性の活躍に大いに期待しているところです。

昨年台湾・台南市においてフルーツ交流消費宣伝事業の一環として、市川昭男山形市長とともにトップセールスを行い、リンゴとラフランスをPRしてまいりました。山形の味に満足していただけたと確信しております。また花笠踊りの披露や、台湾でも人気がある「おしん」で子役を演じた小林綾子さんのサイン会なども行われ、観光都市山形を伝えられたのではと感じております。これは単独JAでは初めての事業として、多くの皆様から高い評価をいただきました。今後は山形市と台南市との間に立ち、友好の架け橋になれるよう努めてまいります。

最後に、今年の干支は「巳」であります。蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させます。農業にも「復活と再生」が有望されております。今年の干支「巳」はまさしく農業が目指す姿そのものです。その実現には組合員の皆様と役職員の知恵、弛まぬ努力、そして情熱が必要となります。一年間その熱い思いを持ち続けることが何よりも大切になってまいります。

大転換期にある今こそ、協同組合の原点に立ち返り、組合員をはじめ地域住民の皆様との結びつきを再強化いたします。そして新たな協同の成果が実現出来るよう、役職員一丸となり取り組んでまいりたいと考えております。今後とも組合員の皆様の絶大なるご協力をお願いいたします。

本年の農作物の豊作、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦



会長理事	長澤 豊
代表理事組合長	板垣 平治郎
代表理事専務	佐藤 浩
常務理事(営農)	小林 藤重
常務理事(信用)	後藤 秀司
筆頭理事	宮部 勝幸
理事	高瀬 傳八

理事	堀井 正敏
理事	遠藤 寛
理事	尾形 昭一
理事	北澤 久敏
理事	渡辺 新一
理事	岡崎 輝明
理事	板垣 政行
理事	城戸 正美
理事	渡辺 作十郎
理事	秋葉 真作
理事	佐藤 益治
理事	高橋 啓治
理事	熊谷 与志巳
理事	有澤 孝司
理事	稲毛 泰一
理事	鈴木 正志
代表監事	菊地 義弘
常勤監事	池田 仁
監事	武田 寛一
監事	山口 富哉
監事	神保 重兵衛
監事	鈴木 勲
員外監事	土屋 均一
参事	斎藤 順

(職員一同)



山形県産米を県民みんなで盛り上げて、
全国に発信していこう！



ヤマザワ店内では、たくさんの新米が店頭に並ぶ。つや姫を使用したお弁当も期間限定販売しています。

——皆様、本日は年末のお忙しい時にお集まりいただき、ありがとうございます。
今日はどついたら山形県産米をもっと全国にアピールできるか、というテーマで、お話をさせていただきたいと思っています。
デビュー3年目の「つや姫」は全国ブランドを目指し、首都圏や関西圏などでテレビCMの放送や、宣伝活動を展開していますが、私たちはそれぞれの立場でどんなことができるのでしょうか。最初に全農ライフサポート山形の門間さん、いかがでしょうか。

門間 「つや姫」については、いま言われましたように山形県とJAグループ山形が連携を図り、様々な宣伝活動を実施しております。私個人としては県外に向けてPRするだけでなく、もともと県内で「つや姫」人気を盛り上げていくのもいいのではないかと思います。なぜかといいますと、「つや姫」と同じ頃に出来た北海道の「ゆめぴりか」という米があるのですが、それは地元の北海道でまず人気が出て、それから東京に進出し、いまとても人気が出てきているんです。そういうステップを踏む方法もいいのかなと。「つや姫」は、県外へ売ることばかりに目が向きやすいですが、山形県内に向けてのアピールもあながち無視できないのではないのでしょうか。

——県外ばかりに目を向けないで、まず地元から、ということですね。いかがでしょうか。

平吹 その意見には、私もすごく共感を覚えます。あるテレビの番組を見て思い付いたのですが、たとえば山形県民に「普段どんなお米を食べていますか？」と質問をして、多くの人が「つや姫です」と答えたらすごくいい宣伝になるなと



「つや姫」の刈り取り作業

(笑)。「つや姫」でなく「はえぬき」でももちろんいいのですが、県民の声としてそういうコメントが出てきたら、とても効果的なPRになると思います。

——それは間違いなく素晴らしい宣伝効果が期待できますね。

平吹 でも残念ながら「つや姫」は値段が高くて、なかなか普段のお米としては手を出しにくい。もう少しリーズナブルな価格になれば、とも思います。

——しかし山形県では「つや姫」のブランド化を目指しています。すなわち「価格は高め」ということですね。

平吹 そうですね。でも、やはり買っていただかないことには始まりません…。家計を預かる主婦の方にとって、価格というのは大きいと思うんです。ですから長い目で見た時に、どちらがアピールとしてよいのか…。

——いま県が目指しているのは、全国的な知名度を得るためのブランド化。しかし、より多くの人に食べてもらうためには価格は安い方がいい。これは難しい問題かもしれません。大沼さん、いかがですか。

大沼 平吹さんのお気持ちはよくわかります。どのスーパーでも、お米はたいへん集客効果の高い商品ですので、チラシを打つ時はできるだけ「目玉商品」にしたいと思っています。しかし、「つや姫」の仕入値を考えると、安くしたいと思っても、なかなかできないのが現実です。

“新春座談会”

山形県産米を 県民みんなで盛り上げて、 全国に発信していこう！

皆様、あけましておめでとございます。
新年恒例の「新春座談会」、今回はどついたら山形県産米をもっと全国にアピールできるか、というテーマで、3名の参加者に語っていただきました。お話をいただいたのは、県内で44店舗、宮城で22店舗を展開する(株)ヤマザワでお米の仕入れを担当する大沼博満さん、(株)全農ライフサポート山形でお米の営業を担当する門間一樹さん、そして山形市本沢地区で稲作一筋に打ち込む、米農家の平吹正直さんのお三方です。ではさっそく、座談会のスタートです！



山形県産米を県民みんなで盛り上げて、
全国に発信していこう！



門間一樹さん

Monma Kazuki 株式会社全農ライフサポート
山形 パールライス部・営業推進課勤務。平成16
年に入社後、パールライスの精米工場でおペレ
ーターとして7年間勤務。平成23年から営業推進課
に移り、ヤマザワグループの精米納品を担当する。



パールライス山形精米工場：徹底した品質管理と最新の精米施設により、
安全・安心で、美味しいお米を皆様のもとへお届けしています。

「つや姫」の宣伝は、県外ばかりでなく、
もつと県内を盛り上げて、その勢いを
県外に発信していきたい！

—— 山形県民がセールスマンとなってア
ピールすることが、もつとも効果的な宣
伝方法のようですね。それでは、今回の
座談会、お聞きとさせていただきますとい
います。本日はどうもありがとうございます。

大沼 山形にはおいしいものがあるとい
うことは、近頃全国的に認知されるよう
になってきました。その山形に住む山形
県民がおいしいといえば、これは一番の
アピールになるのではないのでしょうか。

—— 山形県民がセールスマンとなってア
ピールすることが、もつとも効果的な宣
伝方法のようですね。それでは、今回の
座談会、お聞きとさせていただきますとい
います。本日はどうもありがとうございます。

になるでしょう。試食については新米の
時だけでなく定期的に、全農さんの協力
を得ながら、実施していきたいと思いま
す。

平吹 大沼さんにお伺いしたいのですが、
ヤマザワさんで一番売れているのはやは
り「はえぬき」ですか？「コシヒカリ」
の売れ行きはどうでしょう。

大沼 やはり「はえぬき」が一番です。
「コシヒカリ」の販売数はだんだん減つて
います。「コシヒカリ」もおいしいお米で
すが、「コシヒカリ」を作っていた農家の
方が「つや姫」を作るようになったので、

生産量が減っていると思います。また、
販促の方も「はえぬき」「つや姫」を中
心に実施していますので、それに伴って販
売数も減っていると思います。

平吹 そうですか。個人的には「コシヒ
カリ」が好きなので、けっこう「コシヒ
カリ」を作付けしているんですが（笑）。
これまで「コシヒカリ」を買って下さっ
ていたお客様が、「つや姫」に流れている
ようですね。

大沼 購入されるキャバはある程度決ま
っていると思います。「つや姫」が伸びれ
ば「コシヒカリ」は下がる、という連動性

はあるかと思っています。今はパンやバス
タなどバラエティに富んだ食生活をおくる
ようになって、お米の消費量は減ってい
ると思います。そういう根本的なところ
を見ていかないと、米の販売量を伸ばす
のは難しいですね。

門間 そう思います。そう考えると、山
形県産米の売上を伸ばすには、やはり山
形県民がうまく県外にアピールする風潮
をつくって、県外の人を買ってもらった
ことが大事になってきますね。

—— 今日のお話をまとめると、「つや姫」
をはじめとした山形県産米を売っていく
には、県外でCM放送などの宣伝PRと
同時に、県内でもアピールして、まず山
形県民に食べてもらうこと。そして県内
で盛り上げて、それぞれ親戚や知り合い
などに贈ったりして、県産米を広めるこ
と。それが山形県産米の販売数を増やし、
山形の米農家さんを応援する大きな力に
なる、と。そういうことですね。



昨年末に新装開店したヤマザワ松見町店

やはり現状としては、「つや姫」の食味の
すばらしさを伝えることが、価格に依存
せず購入していただける近道かと思われ
ます。また、県外へのアピールという面
では、県外に住む親戚や友人への贈答な
ども知名度を上げる手段かと思われます。
ヤマザワでも常に専用の宅配箱を用意し
て、贈答への需要に対応しております。
今年の新米の時期も、「つや姫」を県外へ
贈られるお客様が多かったように思われ
ます。

—— つまり価格ではなく、「つや姫」本来
の価値をアピールしていくということど
すね？



平吹正直さん

Hirabuki Masanao 会社務めを経験後、
26歳の時に就農。以来12年、山形市本沢
地区で稲作一筋に取り組む。現在JAやまが
た青年部副部長。つや姫、コシヒカリ、はえ
ぬきの他、もち米、酒米も作付けし、現在は
お米を使った六次産業化を目指している。

テレビの番組で、山形県民が
「普段、つや姫を食べている」と答えたら
すごい宣伝になる。

大沼 そうですね。そういうアプローチ
が有効な気がします。

門間 現状、県内での「つや姫」の小売価
格は5kg・2480円くらいで、「はえぬ
き」は5kg・1980円くらいでしょ
うか。この差は一般家庭にとって大きいだ
よね。

大沼 私は「はえぬき」と「つや姫」の
住み分けがあつていいと思います。普段
は「はえぬき」を食べていても、正月や
お祝いのハレの日は「つや姫」を炊いて
ちよつと贅沢をしてみたり、県外から来
たお客様を「つや姫」でもてなすような
使い分けがあつてもいいと思います。ヤ
マザワでもこれから帰省客の増える年末・
年始にかけて「つや姫」をアピールして

いく予定です。

—— 今年から県でも毎月28日は「つや姫
の日」としていますし、価格ではなく、
別の意識づけでアピールしていくのがい
いのかも知れませんか。

平吹 そうですね。「つや姫」は特別な日
に食べたいお米になつていくのがいいの
かも知れないですね。

大沼 でも、やはり「多くの人に食べて
もらうこと」も大事です。ヤマザワでは
新米の時期にお店で試食を出してPRを
していますが、まだまだ「つや姫」を食
べたことのない方がいるのではないかと
思います。まずは食べてもらい、味を知
ってもらえば、お客様も味を確かめられ
るし、おいしいと思えば買おうという気



大沼博満さん

Onuma Hiromitsu 株式会社ヤマザワ 商品部
加工食品グループ・一般食品兼酒マネジャー。入社
28年、これまで食品部門、お酒部門の販売から
仕入れ等に長く携わり、現在はヤマザワ66店舗に
おける一般食品・お酒の仕入れ責任者を務める。

山形のお米を広めるには、
まず「食べてもらうこと」。お店でも
試食に力を入れていきます。

勤

労感謝の日に合わせて 南山形幼稚園から花のプレゼント

山形市松原の南山形幼稚園うぐいす組（年中）の園児27人が11月20日、JAやまがた南金井支店を訪れ、シクラメンの花をプレゼントしてくれました。これは11月23日の勤労感謝の日に合わせて、園児に感謝の気持ちを育んでもらおうと同幼稚園が開園当時から行っているもの。「おしごとくろうさまです」と手作りのメッセージが添えられたシクラメンを受け取り、梅津実支店長が「毎年きれいな花をありがとうございます。来店した方が見ることができるように入口に飾ります」とお礼を述べると、園児たちは満面の笑みを浮かべていました。



明

治地区そば生産組合が 地元の小学校でそば打ち指導！

山形市立明治小学校の6年生33名が12月11日、そば打ち体験を行いました。このそば打ち体験はJAやまがた明治地区そば生産組合が企画したもので、今回が4回目。普段なかなか体験できないそば打ちを地元の人が児童に教えることで、地元住民と小学校の交流を図っています。この日は地元の転作田で栽培した「でわかおり」を使い、そば打ちをし、茹で上げて班ごとに味わいました。児童たちは組合員さんが打ったそばと、自分たちで打ったそばの味の違いに驚きながらも、そば打ちを通して地元の人たちとの交流を楽しんでいる様子でした。



出

羽果樹組合りんご部会が 出羽小学校にりんごを贈呈！

JAやまがた出羽果樹組合りんご部会は11月26日、山形市立出羽小学校にりんご（サンふじ）40玉10ケースを贈呈しました。これは、地元の農家が丹精込めて育てた農産物を小学生に食べてもらおうという取組みで、同部会の森谷雅幸部会長と出羽果樹組合・小林康弘組合長などJAから関係者5名が参加し、持参したりんごを贈呈しました。りんごを受け取った6年生の後藤優菜さんと大内庸平さんは「いただいたりんごは給食でおいしくいただきます。すごく楽しみです」と話していました。贈呈したりんごはその日の給食で、配られました。



フ

フラワーアレンジメント講習会 40名が参加して楽しめました

JAやまがた本店で12月11日、今回で8回目となるJAやまがた広域花き部会主催「フラワーアレンジメント講習会」が開催されました。この講習会は参加者にフラワーアレンジメントを楽しんでもらうとともに、JAやまがた管内で生産される花について知ってもらおうと開催。今回は山形生花商組合青年部の齊藤大介さんら2名が講師となり、40名の参加者にクリスマス風のアレンジと正月風のアレンジを指導しました。参加した方は「アルストロメリアやストックなど同じ素材を使っているのに、一人ひとり趣が違うのが面白い」と、楽しく充実した時間を過ごしたようでした。



青

年部東金井支部が金井中学校の 受験生を「合格りんご」で激励！

JAやまがた青年部東金井支部は12月11日、山形市立金井中学校の3年生に合格りんごを贈りました。これは、受験を迎える3年生を激励しようと始まったもので、今年で10回目。亀岡文殊堂でご祈禱を受けた「合格祈願」の文字入りりんごを受け取り、生徒代表の朝倉美希さんは「地元の作物の力と亀岡文殊の力をかり、受験まで精一杯がんばります」と感謝の言葉を述べました。また同支部の齋藤拓也支部長は、「地元生産者の力がこもったりんごですので、おいしく食べてください」と述べ、メンバー全員で「フレ、フレ、金井」とエールを送りました。



西

部果樹組合キウイフルーツ部の キウイが西山形小学校の給食に

JAやまがた西部果樹組合キウイフルーツ部は12月12日、山形市立西山形小学校を訪ね、同部が生産したキウイフルーツ70個を贈呈しました。贈呈したキウイは、果肉が黄色いゴールデンキングという品種で、生産を始めて10年ほどになります。同部の伊藤巧部長は「今年もおいしいキウイができたので、みなさんで食べてください」と挨拶し、児童代表の清野拓磨さんと阿曾恵さんから「地元の人がつくってくれたのだと思うと、とても嬉しい」と感謝の言葉をいただきました。贈呈したキウイは、その日の給食で提供されました。



上

山特産・干し柿の共励会 鈴木吉雄さん、小川正義さん 最優秀賞

南部営農センターで12月14日、平成24年度干し柿共励会が行われました。紅柿の部と蔵王つるしの部に31人が出品。審査には山形県と上山市、JA全農山形の職員ら5名があたり、色の鮮やかさや、糖分の結晶である白粉ののり具合、パッケージの仕方などを審査しました。審査の結果、紅柿の部で鈴木吉雄さん、蔵王つるしの部で小川正義さんが最優秀賞に選ばれました。

JAやまがた広域干柿部会・須田和弘部会長は「今年は乾燥状態がよく県外販売の機会も増えているので、全国に上山の干し柿を浸透させたい」と話していました。



今

年度のわんぱくあぐりスクール 8回の授業を終えて閉校式

山形市農業振興公社で12月8日、第8回わんぱくあぐりスクールが行われました。この日の授業はバター作りで、山川牧場（上山市）の山川喜市さんの指導のもと、脂肪分の高い牛乳を入れたベッポトルを振って作る、バター作りを体験しました。その後、大曽根餅つき保存会の方たちと餅つきをし、8回にわたる授業が終了、閉校式も行われました。児童たちは「新しい友達ができ、料理をみんなで作ったのが楽しかった」、「稲刈りと収穫が楽しかった。自分で収穫したご飯が、本当においしく感じた」などと、口々に感想を話してくれました。





illustration : Kikuchi Toshiaki

食べ物と生命力

ジェイエイ・エッセー

一昨年の秋はバセドウ病が悪化し、終日家で寝ている日々が続いていた。不健康な身体からは、当然ながら生きる力も湧いてこない。夫は出張が多く留守がちだったので、口には出さなかったが心配だったのだろう。11月のある日、私の誕生日の12日にレストランを予約したから何があっても必ず東京に出て来るようにと言い残して出かけて行った。

結婚して35年、最初で最後の夫の猝な計らいと心底驚き、倦怠感で一杯の身体を引きずるように車中の人となった。約束のレストランは野菜の素材の味をそのまま生かした料理を得意とする自然派レストランだった。フルコースで次々と出てくる野菜や肉は、一品一品丁寧に扱われ、自然の恵みが身体中の細胞に沁みわたっていくのがはっき

文／長沢 英子

り感じられた。それは食べ物と生命力（身体）は直結している！と感じた衝撃の体験だった。食事が進むにつれて、死んだようにふさいでいた身体も心も甦っていくのを感じた。私はその瞬間、快方に向かうキッカケをつかんだように思う。

今ではすっかり健康を取り戻し、先月上旬した際には、料理研究家辰巳芳子さんを描いた映画「天のしずく」辰巳芳子「いのちのスープ」を観る機会を得た。辰巳さんが考案したスープは、脳梗塞で倒れ嚥下障害で食べる楽しみを無くした父のために作り続けたスープだ。今では全国に広がり、辰巳さんのスープ教室は人気を博している。映画を観た後、そのスープはどんな味なんだろうと日に日に妄想が広がっていた私に、先日思いがけないチャンスが訪れた。辰巳さんのスープ教室に3年間通われた方が、山形でスープをふるまってくるといふ。

この日のスープは、丁寧な手仕事を思わせる美しいオレンジ色の人参ポタージュで、なんとろみはお米で出したとのこと。塩味も人参の味も微妙に控えめな、まさに映画で言われていたような優しいスープで、身体の隅々まで沁みわたたり、あの誕生日の時の感動が甦った。

亡くなる前の3年間、嚥下障害で食べ物を口にできなかった父や、最後の日まで食べたい物を主張して逝った母に、辰巳さんの「いのちのスープ」をあげられたらどんなにか喜んでくれたらうなあと、今さらながら切なく思う毎日である。

JAの仕事訪問

25 JAやまがた
西郷支店



地域とグッドコミュニケーション
皆様の期待と信頼に応え、
地域社会と共生し、貢献する
JAづくりを目指して。



西郷支店
支店長 山口守さん



今後も地域の皆様との結びつきを深め、
なくてはならないJAになっていきたい。

最初に西郷支店の概要を教えてください。

山口 まず当支店の管轄エリアは、上市市南部の高松、石曾根、川口、赤坂、藤吾、阿弥陀地、小穴、細谷の8地区です。組合員さんは正組合員が498名、准組合員が267名。職員は全10名で、うち金融外務員が2名、共済外務員が2名という体制です。

管轄エリア内の農業としては、どんな特色がありますか？

山口 農業は果樹と稲作が中心です。野菜類の出荷はほとんどなくて、果樹が過半数を占めています。昔からこのあたりではデラウェア栽培が盛んだったこともあり、現在もブドウ栽培が盛んで、さくらんぼ、ラ・フランスとともに果樹栽培の柱となっています。

西郷支店はさまざまな地域活動において活気があると聞いています。



山口 そうですね、組合員の皆さんのまとまりがよくて、特に女性部の活動が盛んです。女性部では毎月2回、先生をお招きして支店の2階で3B体操をやっていますし、他にも味噌作りをしたり、講演会を企画したり、たいへん活発な活動を行っています。また農協まつりは「ふれあいまつり」という名称で、西郷地区公民館と西郷支店合同で開催していて、毎年400〜500名の来場者があります。このように地域のまとまりが非常に良いのが西郷支店の特長かと思っています。

今後どんな支店作りを目指しますか？

山口 いまの活気ある地域活動や交流を継続しながら、より皆様との結びつきを深め、地域になくてはならないJAになつていきたいと思っています。これからどうぞ西郷支店をよろしくお願いいたします。



福祉センター青田

謹賀新年

あけまして
おめでとうございます
今年も我が家を
よろしくお願いいたします

2012年

我が家の三大ニュース

おかげさまで2周年！
月曜日～土曜日!!
ご利用のお仲間
いっぱいになりました！

創作教室
「オリジナル運ツリー」完成
もみの木が、緑と赤の蓮花で
デコレーションされました！

畑教室！
旬な野菜を大収穫
きゅうり、トマト、枝豆、
落花生、体いっぱい栄養源を
いただきました！

2013.

1月号

衣・食・住・遊を大切に
JAやまがたのうまみで溢れる
ご本人とご家族が、楽しく健康（幸せ）に暮らす
そんな空間（家）を目指します

介護サービス事業
・通所介護 ・訪問介護
・福祉相談

山形市青田1-4-21
TEL.023-616-8002
FAX.023-631-3830

2013年 1月 行事予定

月	火	水	木	金	土	日
31	1	2	3	4	5	6
年末年始休み				新春初詣ツアー		
7	8	9	10	11	12	13
新春初詣ツアー・創作教室				体力測定 創作教室		
14	15	16	17	18	19	20
体力測定 マッサージ教室			体力 測定	新春お茶会		
21	22	23	24	25	26	27
運動教室			ランニング 千蔵館	そば打ち 教室	ボランティア 教室	
28	29	30	31	見学受付中		
JA直売所 元気市場	いっばく ツアー 文雄館	ランニング 千蔵館	JA直売所 元気市場			



12月 我が家の思い出



蓮花作り



柿のれん



クリスマスリース作り



菊花ちらし



JAオリジナル運ツリー



いっばくツアー
(ドラゴンカフェ)

農政対策協議会・支店長合同会議開催

JAやまがた本店で12月14日、農政対策協議会・支店長合同会議が開かれました。会議には、常勤役員をはじめ、各地区の農政対策協議会支部長、実行組合長連絡協議会代表や各支店長などが出席し、平成24年度の農政活動経過報告や水田農業対策などについての協議が行なわれました。

会議では、主に下記の内容が協議・報告されました。



農政対策協議会・支店長合同会議

- ・平成24年度農政活動経過報告
- ・平成24年度産水稻の予想収量に関する要請について
- ・TPP交渉参加表明断固阻止に関する決議について
- ・今後の農政活動への対応について
- ・平成24年度水田生産調整実績（2市2町）
- ・平成25年度産米の都道府県別の生産数量目標
- ・平成25年度「つや姫」の生産方針について
- ・平成24年度産米集荷進捗状況調べ
- ・品名別販売計画・実績表（平成24年12月10日計上日現在）

●税務署からのお知らせ

平成26年1月から、記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税の申告の必要がない方を含みます。）について、平成26年1月から同様に必要となります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、ご覧ください。



詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

山形税務署

TEL:023-622-1611(代表)

(担当：個人課税部門)

※音声案内で2番を選択してください

出羽・明治・大郷 三支店統合
新支店名が決定しました。

JAやまがた天神支店

平成25年4月オープン（予定）

今後も変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。



イメージ図

だより理事会

第11回 11月28日 開催

●報告事項

1. 組合員（出資金）加入調書について
2. 上半期ディスクロージャーについて
3. 出羽・明治・大郷統合新支店名称について

●経営管理

1. 金庫部・共済部
2. 島ノ前土地区画整理組合への貸付に係る経過説明について
3. 平成24年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について

●営農経済

1. 青果物販売状況について
2. 平成24年度産米集荷状況について
3. 福祉センター・青田介護利用促進数推移について

●その他

1. 平成24年10月末事業実績について

●協議事項

- 第1号議案 農協法第35条の2第2項「理事の利益相反取引」に係る貸付について
- 第2号議案 平成24年度JA全国監査機構期中監査の改善指示書及び改善対応策について
- 第3号議案 「仮称」資産サポート部の立ち上げについて
- 第4号議案 信用事業方法書の一部変更について
- 第5号議案 固定資産取得について
- 第6号議案 役員候補者推薦取扱内規の別表1の変更について

パズル？頭の体操

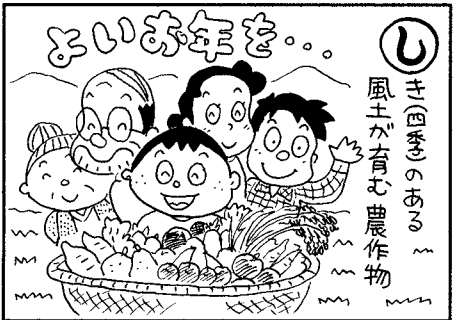
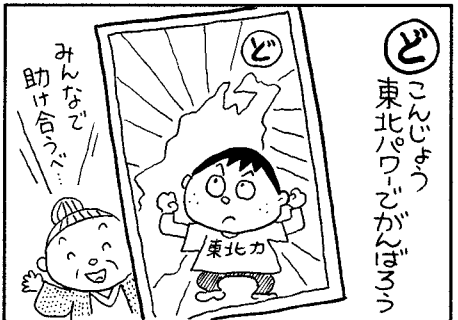
↓タテのカギ

- 1 「止まれ」を表す信号の色
- 3 真つぐく腸にすく食います
- 7 細かく縫い目を入れて布を丈夫にします
- 9 突破して決勝に進みます
- 10 太いへびのような姿の幻の生き物
- 11 山奥で——離れた生活を送る
- 12 紅茶に切つて入れた唐揚げに押つけてかけたり
- 14 オーストリアの首都
- 15 水とは混ざり合いにくい
- 16 バケツやマグカップの持つところ
- 17 スキーをするための場所
- 20 セイウチの口からよききり

→ヨコのカギ

- 1 太陽が東から昇る時分
- 2 空気の乾燥を防ぐ電化製品
- 4 バレンタインデーに贈ります
- 5 ないようでも七つあるとか
- 6 鳥取県や島根県がある地方
- 8 開店祝いなどで贈られる高級な花
- 11 種子島でロケットの——を見学した
- 13 ——羽織にはかまの姿で高砂の席に座る新郎
- 16 手——の補正機能が付いたカメラ
- 18 鶏肉の部位の一つ





1月／2月★イベント情報

1/13 (日)	消防出初式 (山辺町駅前・本町・前小路地区)
1/14 (月・祝)	山形弦楽四重奏団第46回定期演奏会 (文翔館)
1/14 (月・祝)	初市 (中山町長崎上町通り)
1/19 (土)・20 (日)～	蔵王樹氷まつり2013 (山形市蔵王温泉)
1/19 (土)・20 (日)	山響第226回定期演奏会「文学と音楽の融合」 (山形テルサ)
1/26 (土)	やまがた笑いの大楽校 (遊学館)
1/26 (土)	山本貴志ピアノリサイタル (山形テルサ)
1/26 (土)	考古学講座-弥生時代のやまがた (山形県立博物館)
1/29 (火)	上山市民インディアカ大会 (上山市体育文化センター)
2/3 (日)	なかやま雪中カルタ大会 (中山町)
2/3 (日)	第31回山辺町民バトミントン大会 (山辺町町民総合体育館)
2/3 (日)	節分会法要 (山寺立石寺本坊)
2/8 (金)	佐渡裕指揮東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会 (山形県県民会館)
2/10 (日)	こけし雪だるま祭り・宝さがし (山寺宝珠橋公園)
2/11 (月・祝)	女性まつり (中山町中央公民館)
2/11 (月・祝)	カセ鳥 (上山市上山城～市内)

山形市新春農業講演会

「地域とともに農業一筋40年」

■講師：有限会社 豊心ファーム (青森県五所川原市) 取締役 境谷 博顯 (さかいや ひろあき) 氏

■日時：平成25年1月23日(水) 13：30～
■場所：山形市農業研修センター (山形市東古館)
■入場無料・申し込み不要
直接会場にお越し下さい。

※上記イベント情報は12/26現在のもので、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

読者の広場

◇やまがた彩時季の「県民の森の紅葉」は
とてもきれいでした。来年は必ず見に行
こうと思います。(上山市 Kさん)

■県民の森の紅葉、とても美しいですね。
皆さんは今年紅葉鑑賞されましたか？
私はできなかったのですが、来年県民の森に
行ってみようと思います。

◇我が家で野菜をつくっています。甘くて
おいしいと20才になった娘が言ってく
れます。いつまでも大切につくっていき
たいです。(山形市 Iさん)

■自家栽培の野菜、自然の甘みがあってと
てもおいしそうです！どのような料理で
娘さんに食べてもらったのでしょうか。私も
食べてみたいです。

◇先月の料理、一流シェフがつくるので難
しいかなと思いましたが、食材も身近な
ので作ってみようと思います。
(中山町 Tさん)

■先月はナメコをつかった若鶏の卵白炒め
でしたね。シェフいわく、卵白の白さを
残すことがポイントとのこと。ぜひ
チャレンジしてみてくださいね。

地産地食

旬の食材でプロが作るオリジナル料理 57

【半田 聡彦】

高校卒業後、東京の明治記念館(和食部門)に入り、料理人としてのキャリアをスタート。その後、都内の日本料理店で修業を重ね、帰県後は上山の温泉旅館やホテルキャッスルを経て、2011年11月に和食の店「食彩播」を開く。同店は和食の店ながらソムリエがいて、ワインと和食のマリアージュを楽しめるのが大きな特長。9品にご飯、デザート、コーヒーが付く1,000円ランチも大人気。山形市香澄町2-5-16、営業時間11:30～14:00、17:30～21:30 日曜定休。電話023-674-6366



【セリ】

日本原産の野菜で、春の七草のひとつ。ビタミンCを多く含み、独特の香りと歯ざわりをもつ。「セリ」という名前は、水場の近くに競り合うようにして生えていることに由来している。

【セリの福輪】



今回の地産地食は、寒くなって旬を迎えた「セリ」がテーマです。セリは鍋物に入れたり、お浸しにして食べるのが一般的と思いますが、今回は和食とワインの店「食彩播」の半田聡彦料理長に、手の込んだ逸品に仕上げいただきました。皆さんもぜひチャレンジしてみてください。

●材料 (5人分)

セリ……………2把
ナメコ…………20g
むきえび…5尾
そばつゆ…適量
卵黄……………適量
もみじ麩…適量
梅干し…………1個
A…魚すり身…450g
すりおろしたヤマトイモ…100g
卵白…2個分
塩…3g
すりごま…10g
味の素…少々

●作り方

- ①セリは塩水に約2時間浸した後にさっと湯がき、水にさらしてアクを抜く。それをよく絞ってまな板の上にきれいに並べ、すりこぎ棒を転がしてさらに水を絞る。
- ②巻き簾に①のセリをきれいに並べ、そこにあらかじめよく混ぜ合わせたAを、均等の厚さになるように盛り、寿司の巻物の要領で巻く。それを蒸し器で約10分蒸す。
- ③蒸し上がった②を食べやすい大きさの輪切りにして皿に盛る。
- ④そばつゆと卵黄を混ぜて味を調えたものに、小さく切ったむきえびとナメコを加えて餡を作り、③のまわりにかける。仕上げにたたいた梅干しともみじ麩、切ったセリの根を飾る。

50 990-8535 山形市旅電町一丁目12-35 JAやまがた広報クイズ係行

パズル?頭の体操

●プレゼント 「パズル」の正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼント。当選者は発送をもってかえさせていただきます。

●応募方法 左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。締め切りは、1月17日(当日消印有効)です。どしどしご応募下さい。

●お問い合わせ 電話：023-624-8265 FAX：023-631-4714 Eメール：kikakukanri@jayamagata.or.jp

12月号のパズルの答えは「シモパンラ」でした。

四季の生け花 華道家元池坊小山雅子

花と暮らす

○花材 水仙、木瓜、若松 垂れ柳、ししが、椿 (株)出羽園

※今回は、広報紙2ページに掲載させて頂きました。



《今月の表紙》

上山市 工藤庄右門さん
グリーンやまがた南部：工藤庄蔵さん

工藤さんは農業歴32年。稲作40a、りんどう80a、啓翁桜30a、「うめもどき」は6.8aを栽培しています。9月頃から赤く熟したうめもどきの実は、落葉しても枝に残り、鮮やかです。奥様と休みが合えば、一緒に映画に出掛けたり、年に1回は旅行を計画するという仲睦まじいご夫婦です。

あとがき

あけましておめでとうございます。昨年は広報紙の製作を通し、様々なことを学ばせていただきました。今年の抱負「読んだ人が元気をもらえる広報紙」を目指し、取材対象者の熱意や輝きをさらに皆さまにお伝えできるよう頑張ります。今年もどうぞよろしくお願い致します。